



2019年11月27日

「SKYACTIV-D」搭載車、国内販売累計 50 万台達成

—優れた環境性能と運転の楽しさがお客さまに好評—

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D」搭載車の国内販売が、2019年9月末時点で累計50万台に達しました。

「SKYACTIV-D」は、それまでの常識を覆す低圧縮比化を実現し、走行性能、燃費性能、環境性能を大幅に改善したエンジンです。国内市場向けの「SKYACTIV-D」搭載車は、2012年2月に導入を開始。それ以降、3種の排気量をラインナップし、マツダ ロードスターを除く全乗用車に展開してきました。圧倒的なトルクによる高速道路や登坂での余力感、給油のたびに嬉しくなる優れた燃費と経済性、ディーゼルエンジンとは思えないような静粛性や高回転までの伸び、いつまでも乗っていただきたいような運転の楽しさなど、オーナーとなり初めて実感できる独自の価値が、多くのお客さまからご好評いただいています。



SKYACTIV-D 1.5



SKYACTIV-D 1.8



SKYACTIV-D 2.2

■「SKYACTIV-D」搭載車

CX-30、CX-8、CX-5、CX-3、MAZDA6、MAZDA3、MAZDA2

(参考)クリーンディーゼルエンジン国内乗用車販売台数推移 (マツダ車:マツダ調べ 全銘柄:自販連調べ)

	CY2012	CY2013	CY2014	CY2015	CY2016	CY2017	CY2018	CY2019 (1-9月)	計
マツダ車	28,875	45,379	48,815	103,771	73,566	69,286	80,671	50,195	500,558
全銘柄	40,201	75,701	79,222	153,732	143,468	156,162	176,721	136,476	961,683

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る喜び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以 上